

# 令和4年度学校経営方針

## 1 児童・地域の実態

本校の児童には新しいことに積極的に取り組む、好きなことに集中して取り組むといったよい面があり、思いやりの心をもち、優しく人に接することのできる児童が多い。また、指導されると素直に受け止め、直そうとするよさも見られる。

一方で粘り強さや我慢強さがやや弱く、授業に集中するのが難しい子、授業に飽きて出歩いてしまう子も複数見られる。また、学びに向かう力や思考力に個人差が見られ、発達障害のある児童など学习上配慮を要する児童が多くいる。

学区内は宅地化が進み新たに合戦場地区に居を構える方が増えている。学区の中心に例幣使街道が通り、また日立創業者の小平浪平翁の生誕の地でもあるといった古い歴史を歩んできた地域であることから、街を盛り上げようとする機運が高い。

## 2 経営理念

教育の目的は児童生徒の人格の完成にある（教育基本法第1条）。小学校においては、義務教育の基礎を施すことを目的とする（学校教育法第29条）。小学校は児童の人格の完成の基礎、すなわち「生きる力」の基礎を培う教育の場である。

本校では、人格の完成の基礎を培う子どもの姿を「よりよい自分になる姿」ととらえ、それを促進する学校経営を

**よりよい自分になる学校**

の経営理念のもと行っていく。経営理念具現化の進捗状況は随時学校経営戦略会議で確認し、学校経営に反映させていく。

## 3 教育目標

人格の完成は知・徳・体の調和によって成り立つ。そこで、本校の教育目標を

**考える子 明るい子 たくましい子**

とする。考える子は知育の面、明るい子は徳育の面、たくましい子は体育の面の目標である。考える子の実現のために知育部、明るい子の実現のために徳育部、たくましい子の実現のために体育部の三指導部会を組織に位置付ける。

## 4 本年度の目指す児童像

学校経営理念を具現化し、教育目標を実現するために、本年度達成する目指す児童像を三指導部会で設定した。

知育部	<b>自分の考えをもち、表現できる児童</b>
徳育部	<b>自分で考え、正しく行動できる児童</b>
体育部	<b>安全について考え、健康な体づくりができる児童</b>

本年度中にすべての児童が目指す児童像に近づくよう、三指導部会の長を中心に実践を進めていく。目指す児童像実現に向けて、日々の授業や学校生活で形成的評価を重視し、自分のよさや伸びつつあるところを児童に気付かせながら指導を重ねていく。

## 5 本年度の重点

経営理念「よりよい自分になる学校」を具現化するために、次の5つの重点項目と5つの具体策を定め、本年度の学校経営を進めていく。(1)から(3)の目指す児童像達成に向けての重点項目は学期ごとに評価する。

### (1) 自分の考えをもち、表現できる児童の育成（主に知育部が担当）

- ・授業での「めあて」の提示と「振り返り」の充実
- ・表現力を身につける学習活動の工夫
- ・ICT機器を活用した授業の展開
- ・学力向上推進リーダーや学びのUD協力員の助言を参考にした、児童の内発的動機づけを高める授業実践の継続
- ・特別支援学級と通常の学級の交流及び共同学習の充実

### (2) 自分で考え、正しく行動できる児童の育成（主に徳育部が担当）

- ・「いつでもどこでも自分から」の日常での挨拶実践の強化
- ・「時間を守る」「静かに集合」など、当たり前を実現する児童指導の継続
- ・「チクチク言葉でなくふわふわ言葉」を意識し、各学級で相手の気持ちを考える実践の継続
- ・ありのままの自分を認める基本的自尊感情を育てる指導の重視
- ・自己の生き方についての考えを深め、いじめを許さないなど、よりよく生きようとする力を高める道徳教育・人権教育の拡充

### (3) 安全について考え、健康な体づくりができる児童の育成（主に体育部が担当）

- ・スポーツの多様な楽しみ方を考え、できる喜びを味わえる体育授業の展開
- ・安全で健康な生活について考えを深め、行動に結びつける保健指導の充実
- ・給食をバランスよく食べ、健康の保持増進に努める食育指導の充実
- ・登下校の歩行や自転車の乗り方の指導など、交通事故を未然に防ぐ指導の徹底
- ・地震、竜巻、不審者から身を守る、自助力を育てるための避難訓練の継続

### (4) 教職員の創意を生かした学校づくりの実現

- ・教職員一人一人が自分の持ち味や専門性を生かす働きがいのある職場の実現
- ・すべての児童が活躍できる学級経営や係活動の実践化
- ・教職員が相互に磨きあう指導案検討会や授業研究会の充実
- ・学級や学年、全校での取組をわかりやすく伝える学級・学年・学校だよりやホームページの発信の継続
- ・教育的意義と実践コストのバランスを意識した各種行事の実施と見直し

### (5) 地域・PTA・都賀地区小中学校と共に歩む一貫教育の継続

- ・学校運営協議会委員やPTAと共に行う学校づくりの推進
- ・読み聞かせボランティアや図書館ボランティア、ミシンボランティアなど、地域の教育力を生かした実践の拡充
- ・地域コーディネーターの協力のもと、茨城県会瀬小学校と学び合う「小平浪平学習」の継続
- ・平川駐在所、PTA、栃木警察署スクールサポーターと連携した安全対策の継続
- ・都賀ブロック学力向上推進研究指定を生かした学校間の連携の継続